

わかりやすく、すぐに役立つ図面の基礎を習得していただきます!!

設計意図を伝えるテクニック Level 2 幾何公差 はじめの一步

日時 2026年9月11日(金) 10:00~17:00 (9:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師 小島 祥平 氏
小島技術士事務所 代表

受講料 48,400円 (資料含む、消費税込)

- 受講効果
- [1] 図面で設計意図を正しく伝えるために、サイズ公差と幾何公差の基本的な違いを理解できます。
 - [2] データムや形状・姿勢・位置・振れの考え方が整理でき、実務で使える基礎を習得できます。
 - [3] 演習を通じて図面読解力を高め、加工・検査との認識ズレを防ぐ力を身につけられます。
 - [4] 設計・製造・品質保証の共通理解を深め、図面品質向上につながる実践的な考え方を学べます。

プログラム

1. サイズ公差と幾何公差の違いとは

- (1) 独立の原則を理解する
- (2) 加工のバラつき・計測のバラつきを知る

2. 幾何公差の基本「データム」とは「幾何特性」とは

- (1) データムの記入方法 (図示方法)
いろいろな指示方法を知ること作図の迷いを払拭する
- (2) データムの優先順位
- (3) 加工・計測とデータムの関係
- (4) 幾何公差が規定する形体
- (5) 公差記入枠の記入法

3. カタチを制御する ~形状偏差の理解~

形状偏差、6つの種類

- ・真直度
- ・真円度
- ・線の輪郭度
- ・平面度
- ・円筒度
- ・面の輪郭度

あるべき形状を規制するのが形状偏差

【演習】形状偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

4. 傾きを制御する ~姿勢偏差の理解~

姿勢偏差、5つの種類

- ・平行度

- ・直角度

- ・傾斜度

- (・線の輪郭度)

- (・面の輪郭度)

あるべき角度と形状を規制するのが姿勢偏差

【演習】姿勢偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

5. 位置を制御する ~位置偏差の理解~

位置偏差、5つの種類

- ・同軸(心)度
- ・対称度
- ・位置度
- (・線の輪郭度)
- (・面の輪郭度)

あるべき位置、形状、姿勢と共に規制するのが位置偏差

【演習】位置偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

6. 振れを制御する ~振れ偏差の理解~

振れ偏差、2つの種類

- ・円周振れ
- ・全振れ

軸を回転させたときの表面形体の振れを規制するのが振れ偏差

【演習】振れ偏差の正しい作法、誤った作法を理解する

※筆記用具をご持参ください。「4色ボールペン」があると望ましいです。

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

